

共催：

東京外国語大学ポルトガル語圏文学・文化研究室
学生団体ESTUDAMOS PORTUGUÊS!

EU SOU O SAMBA

2021.8.21.SAT 14:00-17:00

講師:Alê Vilar(アレ・ヴィラー)氏

ダンス大国ブラジル、リオ・デ・ジャネイロにて活躍するコレオグラファー、ダンサー、インストラクター、文化研究家。

11歳よりプロの振付師/ダンサーとしてナショナルテレビGloboや劇場の作品も手がける。

世界中から絶大な人気を誇る2016年・2019年リオカーニバル優勝チーム・マンゲイラのパシスタ・ショー（トップソロダンサー）であり、公式アジア代理人を務める。ブラジリアンズーク、サンバ・ジ・ガフィエラ、サンバ・ファンキアード、ボレロ、ボレロ・コンテンポラリー等、多岐ジャンルにわたり本場リオ・デ・ジャネイロで行われるコンGRESの講師に招かれる希少な万能ダンサーかつマスターティーチャーである。

2017年にはオーストラリア人ダンサーをInternational Samba congressにて見事優勝に導く。日本のブラジルダンスの普及・向上の為依頼を受け2012年来日し、以来日本人ダンサーを精力的に指導、あらゆるショーやイベントにて活躍している。

また、サンバだけでなくブラジルの包括的な文化を普及したいという願いから”Eu sou o Samba”という座学を通し歴史、政治、文化、音楽のあらゆる側面からサンバの誕生と発展をリオ・デ・ジャネイロの大学、サンパウロ市、ブラジリア、東京などで講義している。



[講義内容]

Eu sou o Samba 講義120分
(質疑応答含)

ダンス実技 60分

[使用言語]

ポルトガル語/日本語

日本語通訳：ヴィラー梨紗氏

[場所]

オンライン(ZOOM使用)

イベント詳細

リオ・デ・ジャネイロ、サンパウロ、ブラジリアの大学や市にも招かれ、講義を受けた多くのブラジル人が涙した Alê Vilarの360度サンバ講義、Eu sou o Sambaが大学に帰ってくる！

ブラジルの鼓動・サンバの歴史とその背景、文化、フォークロアとのコネクションが網羅できる特別講義です！
起源、歴史、変遷、文化、各地フォークロアの影響や現在のサンバが形成されるまでの様々なフュージョン。
サンバを紐解くのに欠かせない北東部Pernambuco出身の両親・先祖を持つカリオカのサンビスタ、Alê Vilar。
サンバを”生きる”彼のアプローチは、教科書とは違いまさに実践、生で見てきたそのもの。
サンビスタとしてだけでなく様々なフォークロアやアフロ・アフロアメリカンを網羅し、
さらにプロのミュージシャンでもあるアレ氏。

ダンサーだけでは伝えることのできない音楽や文化とのコネクション、歴史家や研究者・ミュージシャンが語れない“実践=ダンス”とのコネクション、サンバを360°で語ることのできる存在は他にはいません！
ぜひ、皆さんの愛するブラジルの、美しく豊潤な、そしてどうしようもなく混沌とした文化と一緒に紐解きましょう。

【参加方法について】

今回のイベントは学生の方対象です

対象：学生の方

定員：95名(先着順)

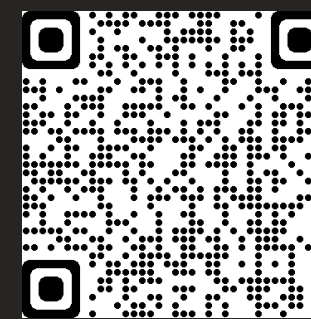
参加費：無料

お申込み方法：Google Form

右のQRコードを読み取り、参加お申し込みフォームより事前登録をお願いいたします。

お申込内容を確認後、メールにてZoomのリンクを送付致します。

締め切り：2021年8月20日(金)23：59(日本時間)まで



https://docs.google.com/forms/d/1sbGSg3jV31_mKSVrQo6_olcmL1Clb-CLaNmLkavJo8/viewform?edit_requested=true

訂正とお詫び

以前発表しましたイベント詳細には、学生以外の一般の方もご参加いただけると記載していましたが、都合により今回は学生の方のみを対象とさせていただきます。参加を楽しみにしておられた方のご期待に沿えず申し訳ございません。

お問い合わせ先：Estudamos Porutuês!メールアドレス
estudamos.portugues.jp@gmail.com